

基礎看護学実習Ⅱ 評価表

茨城県立看護大学校 看護学科

実習期間：令和 年 月 日～ 月 日	学籍番号・氏名	教員サイン
-----------------------------------	---------	-------

目標1 環境整備や日常生活援助場面等をととして、療養生活を送る対象や家族の思いに関心を寄せることができる。

評価規準	評価対象	評価基準				学生	指導者 教員
		5点	4点	3点	2点		
1 対象やその家族に関心を寄せることができる。 (対象理解の一部。対象の主観的な身体・心理・社会面の変化から、その人をどう考えるか)	実習記録 言動	入院や病気や治療による変化(生活・役割・体調など)を対象がどのように感じているのか、対象から話を聴いたり、職員からの説明などから 自発的 に情報を得ている。	入院や病気や治療による変化(生活・役割・体調など)を対象がどのように感じているのか、対象から話を聴いたり、職員からの説明などから情報を得ている。	入院や病気や治療による変化(生活・役割・体調など)を対象がどのように感じているのか、助言や振り返りによって、情報を得ているが不足がある。	助言や振り返りがあっても、情報を得ていない。または、情報を得る行動をしていない。		
2	実習記録 言動	入院や病気や治療による変化(生活・役割・体調など)を対象がどのように感じているのか、考えたことを 具体的に 説明している。	入院や病気や治療による変化(生活・役割・体調など)を対象がどのように感じているのか、考えたことを説明している。	入院や病気や治療による変化(生活・役割・体調など)を対象がどのように感じているのか、助言や振り返りによって考えたことを説明しているが、不足がある。	助言や振り返りによって、考えたことを説明しているが、独りよがりである。または、説明できない。		
3 看護師が療養環境を整える意義を理解できる。	実習記録 言動	既習学習や実習体験を通して、対象の療養生活の状況に配慮した療養環境を整える意義について、 根拠をもとに 捉えている。	実習体験を通して、対象の療養生活の状況に配慮した療養環境を整える意義を捉えているが、根拠が不足している。	対象の療養環境を整える意義は捉えているが、対象の療養生活との関連は不足している。	療養環境を整える意義を捉えようとしているが、独りよがりである。		

目標2 対象の思いや考えに影響を与える要因を考えることができる。

評価規準	評価対象	評価基準		学生	指導者 教員
		10点	4点		
4 対象の反応に影響する要因を多面的に捉えることができる。	実習記録 言動	対象の言動や行動、生活に影響を与える要因を捉え、根拠をもとに関連づけている。	対象の言動や行動、生活に影響を与える要因を捉えようとしているが、根拠が乏しく考えが飛躍している。		

目標3 対象が話しやすいコミュニケーション技法を用いることができる。

評価規準	評価対象	評価基準				学生	指導者 教員
		5点	4点	3点	2点		
5 対象の反応に応じた効果的なコミュニケーション技法を用いることができる。	実習記録 言動	丁寧な言葉遣いや挨拶や関心を示す行動・言動がとれる。常に対象の話をうなづきや自然なアイコンタクトをしながら聴いている。対象の話を遮らず、 話の中心を相手に確認しながら 聴いている。	丁寧な言葉遣いや挨拶や関心を示す行動・言動がとれる。対象の話をうなづきや自然なアイコンタクトをしながら聴いている。対象の話を遮らず聴いている。	丁寧な言葉遣いや挨拶はできる。対象の話を聴こうとする姿勢はみられるが、傾聴の技法が形式的であったり、一方的な関わりがみられる。	対象への関心を示す言動や聴く姿勢が十分ではなく、関わりが形式的・一方的である。または、消極的で対象とのコミュニケーションに至らない。		
6 対象が話しやすい環境を考え、配慮することができる。	実習記録 言動	対象の表情や反応に応じて、声のトーン・間・姿勢・距離感などを 適切に 調整し、対象が 安心して話せるよう 配慮して関わっている。	対象の表情や反応に応じて、声のトーン・間・姿勢などを調整し、対象が話しやすいよう配慮して関わっている。	対象が話しやすいよう配慮して関わろうとしているが、調整が不十分である。	対象が話しやすいような配慮や調整がほとんどみられず、一方的な関わりとなっている。		
7 意図的なコミュニケーションの実施が理解できる。	実習記録 言動	対象の感情表出やプライバシー(個人情報を含む)を考え、環境的配慮(場所・距離・角度)を十分に計画し、実施している。	対象の感情表出やプライバシー(個人情報を含む)を考え、環境的配慮(場所・距離・角度)を計画し、 一部実施 している。	対象の感情表出やプライバシー(個人情報を含む)、環境的配慮(場所・距離・角度)を考えているが、実施には至らない。または、事前に考えることなく実施している。	対象の感情表出やプライバシー(個人情報を含む)、環境的配慮(場所・距離・角度)を考えない、かつ、実施には至らない。		
8		質問内容や対象にあった尋ね方を事前に考えて計画し、実施している。	質問内容や対象にあった尋ね方を事前に考えて計画し、 一部実施 している。	質問内容や対象にあった尋ね方を事前に考えているが、実施には至らない。または、事前に考えることなく会話をしている。	質問内容や対象にあった尋ね方を事前に考えていない、かつ、実施には至らない。		

目標4 コミュニケーションが対象に与える影響を振り返ることができる。

評価規準	評価対象	評価基準				学生	指導者 教員
		10点	8点	6点	4点		
9 コミュニケーションが対象へ及ぼす影響を理解できる。	実習記録 言動	相手の言語的・非言語的メッセージを観察し、それらに関連付けて対象の考えや感情を推察し、 根拠をもって 表現している。	相手の言語的・非言語的メッセージを観察し、対象の考えや感情を推察して表現している。	相手の言語的または非言語的メッセージを観察し、対象の考えや感情を推察して表現している。	相手の言語的または非言語的メッセージを観察しているが、対象の考えや感情の推察が表面的または断片的である。		
10		対象とのかわり方で生じた自己の考えや感情を 具体的に 表現している。	対象とのかわり方で生じた自己の考えや感情を表現している。	対象とのかわり方で生じた自己の考えや感情を表現しているが、不明瞭である。	対象とのかわり方で生じた自己の考えや感情を一部表現しているが、断片的である。		
11 実習体験を振り返り、コミュニケーションにおける自己の課題が明確にできる。	実習記録 その他記録物 カンファレンス 言動	実習中の印象に残った出来事をありのままに捉え、何を考え何を感じたのか、その経験から何を学んだのか、考えたことを論理的に述べている。 かつ、自己の課題を 経験とのつながりを持って具体的に 述べている。	実習中の印象に残った出来事や考え感じたこと、その経験からの学びについて、助言を受けながら、考えたことを述べている。 かつ、自己の課題を述べている。	実習中の印象に残った出来事や考え感じたこと、その経験からの学び、自己の課題について、助言を受けても不足はあるが、考えたことを述べている。	学びが不明瞭である、または独りよがりである。または、テーマに沿わない内容を記載している。		

目標5 看護学生として望ましい態度をとることができる(情報管理、言葉遣い、身だしなみ、主体的な学習姿勢)。

評価規準	評価対象	評価基準				学生	指導者 教員
		5点	4点	3点	2点		
12 専門職としての基本的な態度	実習記録 その他記録物 (事前学習、メモ帳等) 言動	看護学生として誠実に対応している。 ☐ 体調管理(適切な受診も含む) ☐ 身だしなみ ☐ 相手を尊重した態度	何れかに課題があったが、改善している。	何れかに課題が残るが、改善の必要性には気付いている。	何れかに課題があり、自分本位である。		
13 保健・医療・福祉チームの一員として責任を果たす基本的行動	実習記録 その他記録物 (事前学習、メモ帳等) 言動	責任を果たす基本的行動がとれている。 ☐ 事故防止 ☐ 感染防止 ☐ 時間管理 ☐ 提出期限	何れかに課題があったが、改善している。	何れかに課題があり、その課題を繰り返した。または何れかの課題により、相手に影響を与える可能性があった。	何れかの課題により、相手に影響を及ぼしている。		
14 情報管理	実習記録 その他記録物 (事前学習、メモ帳等) 言動	情報管理の必要性を理解し、実習要領(個人情報及び実習記録等に関する注意事項)に沿った管理・行動をしている。 ☐ 個人情報の取り扱い ☐ 記録物の取り扱い ☐ 施設のルールを守った行動	何れかに課題があったが、改善している。	何れかに課題があり、その課題を繰り返している。または何れかの課題により、相手に影響を与える可能性がある。	何れかの課題により、相手に影響を及ぼしている。		
15 報告・連絡・相談	実習記録 その他記録物 (事前学習、メモ帳等) 言動	報告・連絡・相談を適切にしている。 ☐ 時期(タイミング) ☐ 内容 ☐ 方法(誰に、どのように)	何れかに課題があったが、改善している。	何れかに課題が残るが、改善の必要性には気付いている。	何れかに課題があり、自分本位である。		
16 主体的な学習姿勢	実習記録 事前学習 言動	教科書や参考書、授業資料を用いて 不足なく 事前学習をして実習に臨んでいる。実習中にわからなかった事柄について 積極的に 質問し、教科書や参考書等を用いて自ら学習している。	教科書や参考書、授業資料を用いて事前学習に取り組んでいるが、やや不足がある。また、実習中にわからなかった事柄について、促されれば質問や学習をしている。	事前学習に取り組んでいるが、不足があり、かつ、実習中にわからなかった事柄について、促されれば質問や学習をしている。	事前学習に多く不足があり、学習課題に取り組んでいない。かつ、実習中に課せられた課題に対して学習をしていない。		
						合計	合計
						評定	